

岩見沢聖十字幼稚園 施設関係者評価

評価年月日 令和5年 3月 4日

評価者氏名 瀧澤 聡

【園長の自己評価について】

今年度の園長の自己評価は、評価基準が例年とほとんど変わらず、「安全対策」における「防災対策」についてのB以外は、Aであった。「結果」および「改善策」のコメントを読むと、多くの成果があったことが理解できる。このことは、「教職員の自己評価について」と「保護者アンケート結果」とも相関性が高く、園長先生の自己満足的な評価では決していない。園ではお子さんを中央にしながら、園長先生を含めた教職員と保護者がともに手を取り合って互いに信頼関係を構築している結果の表れのように思う。

【教職員の自己評価について】

教職員アンケートの結果における各質問の回答数（割合）の傾向は、例年とほとんど同様であった。つまり大きな変化はなかったと思う。それで、今回は、「今後も大事にしていきたいこと」におけるコメントから、キーワードとして読み取れることを抽出してみた。それによると、「遊び中心の保育」「子ども主体」「丁寧な保育」「共感」「安心感」「信頼感」「(教職間)相談のしやすさ」「(教職間)の共通理解」「教職間での助け合い」「教職間の連携」「同僚に家族がいることの認識」等であった。これらのキーワードが、園長先生の自己評価と多くが重なっていることがわかる。園長先生と教職員がしっかりとタッグを組み、お子さんたちと保護者を支えていることの証左になると思う。園によっては、園長先生側の管理職と教職員の間が、ギクシャクしたり対立したりすることが、マスコミで報道されたり、当方が勤務する大学でも保育士等養成課程があり、そこの担当教員から伝え聞くことがあるが、貴園については無縁であろう。来年度も現状を維持し、地域から信頼される園として活躍されることを願うばかりであろう。

【保護者アンケート結果について】

保護者アンケート結果についても、各質問におけるコメントからキーワードを抽出してみた。「遊び重視」「素晴らしい園庭」「先生方の雰囲気のよさ」「子どもがたくましく成長」「言語の発達の向上」「おもいやり」「明るく元気（先生も子どもも）」「読み書きより遊び」などであった。これらのキーワードから、多くの保護者が園の教育方針を支持し、納得していると理解できる。特に印象的であったことは、保育について「遊び」が重要であり尊重されるものと認識している保護者がほとんどであった点である。さらには、「読み書き」を保育に取り入れることがないことへの不安や心配が多少あっても、結果としてそれより遊びこむことの重要性を指摘していた点も印象的であった。貴園の善さを多くの保護者が受け入れ、幼児期に子どもの成長にとって何が重要であるかを理解している点は、とてもすばらしいと思う。

【その他】

次年度も、貴園と保護者の信頼関係をさらに発展させ、地域の園として根付かせ、子どもたちがますます成長できるように活躍してほしいと心から願っている。